

## 平成28年度 シラバス（授業計画）

教科名	総合的な学習の時間			単位数	1	単位
科目名	芸術に触れよう			対象学年	3	学年
科目分類	必修選択			授業形態	一斉	授業
教科書	配布プリント 各種DVD			担当者	菅原・柴田	
使用教材						
学習内容	ねらい	音楽、美術に限らず芸術と呼ばれるもの全般の鑑賞を通し、芸術の奥深さを知る。				
	1学期	前期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 映画 アマデウス 鑑賞</li> <li>2. NHKプロフェッショナル仕事の流儀 『漫画家井上雄彦ドキュメンタリー』鑑賞</li> <li>3. NHK新日曜美術館 『日比野克彦ドキュメンタリー』鑑賞</li> <li>4. 『奈良美智AtoZ』鑑賞</li> <li>5. NHK新日曜美術館 『奈良美智×村上隆対談ドキュメンタリー』</li> <li>6. 黒澤明監督映画『羅生門』『夢』鑑賞</li> <li>7. レ・ミゼラブル鑑賞</li> </ol>	授業時間	35	
	2学期			時間		
	3学期	後期	前期に同じ	授業時間	35	
				時間		
	評価観点	<p>関心：主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、喜びを味わい美術を愛好していこうとする。</p> <p>能力：豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想をする。</p> <p>技能：表現の技能を身につけ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。</p> <p>鑑賞：美術作品や文化遺産などに親しみ、よさや美しさを感じ取り味わったり、理解したりする。</p>				
評価方法	評価の観点から作品を採点し、普段の授業態度や持ち物などの評価を足し引きした総合点により評価する。					
備考						

## 平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>芸術 I</b>	単位数	<b>2 単位</b>
科目名	<b>音楽 I</b>	対象学年	<b>1 学年</b>
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書	高校生の音楽1(教育芸術社)	担当	菅原
使用教材	教科書及び配布プリント		
学習内容	ねらい	音楽理論を土台にしソルフェージュ能力をいかながら楽譜を理解し表現できるようにする 音符、音階、音程等を理解させる。歌唱等の表現活動から音楽を愛好する気持ちを育てる	
	1 学期	校歌の斉唱 … 暗譜で歌えるようにする。 唱歌の斉唱 … 教科書の曲を取り扱う。 音楽理論 … 音符とリズム 音名、音階、練習問題 合唱 … 混声4部合唱 大地讃頌 ほか 音楽鑑賞 … ライオンキング鑑賞	授業時間  <b>24</b> 時間
	2 学期	斉唱 … イタリア歌曲(Caro mio ben) 合唱 … 混声三または四部 … 合奏 … ギター 鑑賞 … ギターコンチェルト等	授業時間  <b>26</b> 時間
	3 学期	合唱 … 合唱祭に向けた取り組み・校歌無伴奏混声四部 混声三または四部 器楽 … ハンドベル 鑑賞 … ミュージカル	授業時間  <b>20</b> 時間
評価観点	授業に意欲を持って取り組むことができたか。 合唱等の実技活動で協調性を持って楽しく参加できたか。 内容を理解し、実践できたかどうか		
評価方法	評価の観点にある事項について、歌唱テスト、筆記テストを行い 点数化する。その総合点により評定1～10で評価する。		
備考	評価に関しては技術点に偏らないように注意する。		

## 平成28年度 シラバス (授業計画)

教科名	<b>芸術Ⅱ</b>	単位数	<b>2 単位</b>
科目名	<b>音楽Ⅱ</b>	対象学年	<b>2 学年</b>
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉 授業</b>
教科書	TUTTI(教育出版)	担当	菅原
使用教材	教科書および配布プリント 音楽ノート		
学習内容	ねらい	1学年で学んだ音楽を土台にして、実践力を養う。音楽を愛好する気持ちを育てる。 音楽理論を習得し、楽譜を理解できるようにする。 お互いの音を聴きあいながらバランスを考えて演奏できるようにする。	
	1 学期	斉唱 … ポピュラーソング(Tomorrow・ホールニューワールド等) 合奏 … ボディーパーカッション 楽典 … コードネームの理論と実習 合唱 … 混声三または四部 鑑賞 … 天使にラブソングを	授業時間 <b>24</b>
	2 学期	合奏 … グループでのキーボードを使った演奏 合唱 … 混声三または四部 鑑賞 … うた魂	授業時間 <b>26</b>
	3 学期	合唱 … 合唱祭の取り組み … 初心のうた 鑑賞 … オペラ等 斉唱 … 天使にラブソングから(オーハッピーデー他)	授業時間 <b>20</b> 時間
評価観点	授業に意欲を持って取り組むことができたかどうか。 合唱・器楽の実技活動に協調性を持って取り組むことができたかどうか 内容を理解し向上心を持ち演習できたか。		
評価方法	評価の観点にある事項について、実技テスト、筆記テスト等を行い、点数化する。その総合点により評定1～10で評価する。		
備考	評価に関しては技術点に偏らないようにする。		